

平成 22 年 2 月 15 日

第 59 回 番組審議委員会 議事録

1. 開催日時 平成 22 年 1 月 28 日

2. 開催場所 株式会社 奈良シティエフエムコミュニケーションズ

3. 委員総数 7 名
出席委員数 7 名

出席委員の氏名 佐久間 重彰、寺尾 知子、葛原 のり子、滝 直子
森 博子、内田 美子、藤丸 正明

欠席委員の氏名

放送局側出席者 大道 ラン、大上 薫

4. 議 事 番組審議
その他

5. 議事の概要 番組審議 試聴番組について説明

○「ことばの贈り物(ナビータならトワイライト)」

毎週月曜日から金曜日まで PM16 時から 18 時まで放送している生放送番組「ナビータならトワイライト」の中で、毎週水曜日番組内のコーナー『ことばの贈り物』。番組担当は 福森ひとみです。日常特別な意識を払うこともない日本語。その日本語で何かを考えて何かを思って日本語でいろんなことを感じ、声を出すときにも日本語で読み、話し、用を足したり、思いを伝えたりしています。その日本語をいろいろな角度からリスナーと一緒に考えるコーナーです。
今回は 12 月 23 日の放送分です。

○「Rookie Style」

毎週土曜日夜 8 時から 9 時まで放送しているパブリック番組です。
内容は、インディーズによるインディーズの為の音楽番組。毎週いろいろなアーティストがゲストに出演してもらい。またパーソナリティの素顔にせまるコーナーなど内容盛りだくさんな番組です。パーソナリティは 大阪府出身のシンガーソングライター 槌谷 知佳と 番組ディレクターの金丸 清治。
今回は 12 月 12 日の放送分です。

6. 審議内容 番組審議

(1) 番組試聴

委員よりの意見

○「ことばの贈り物」

- ・ 言葉のプロの方だったので 一人で話しをされていても 充実した内容の番組でした。ただ 日本語の内容にクリスマスソングだったので ミスマッチな気がしました。JPOP のほうが良いように思います。
- ・ 徳川家の子孫の鈴木家が鈴木 の発祥は間違いなのではないでしょうか。後白河皇が熊野詣の際に「ウイ・ススキ」として鈴木 の姓の記録が残っている。山の手言葉で 抑揚言葉は説明が良かった。もう少し「何故」そのような「語句」になったのか 当時の時代背景も想像できて、例を入れてみるともっとわかりやすくなるのでは。
- ・ 日常、耳にする機会がない「位相語」の概念を庶民的娯楽の「落語」に焦点を当てて、平易な解説で大変興味深く聞かせて頂きました。男性名詞・女性名詞・鈴木家のルーツなど 話題豊富でリスナーを飽きさせない展開でしたが、せっかくの「位相語」、谷崎潤一郎「細雪」に見る「ごりょうさん」「いとさん」「こいさん」などの言葉の紹介に文学作品にも触れていただければ「位相語」もより身近になってリスナーに届けられたかと思えます。また、当番組は「日本語を一緒に考えていく」とのコンセプトのもと進められてるようですが、番組中のかたかな言葉「ツール」「メディア」などはできる限りの使用を控えられ解りやすい日本語を使用されることを提案いたします。
- ・ 位相語をいう単語を初めて知りました。日本語を使う時、特別ば意識をしていないので、改めて説明を聞いて勉強になる番組だと思いました。優しい声で聞きやすかった。
- ・ 言葉の奥深さととても勉強になり撒いた。言葉の使い方・話し方・改めて考える良い機会となりました。とてもおちついて聞くことが出来ました。
- ・ 位相語と漢字で説明があったのでどんな字がよくわかりました。淀みない口調もよかったです。言葉のルーツの源時代劇であるというのなるほどと納得できます。日本語は奥が深く、奥ゆかしい日本の財産です。大切に守っていききたいですね。
- ・ パーソナリティの話し方がすごく聞きやすかった
- ・ 初めて聞いた「位相語」の使い方などを解りやすく説明されていたので良かった。言葉の奥深さを感じました。

○「Rookie Rstyle」

- ・ 番組の出足の部分が元気にスタートさせるのは解るが「毎度！！」はどうかと感じさせた。
- ・ 残念ながら ゲストで出演されていたインディーズの方は全く無知の方でした。
- ・ とくに興味のある話題もなく、なんとなく聞き流してしまい印象に残らない番組に感じました。

- ・ 特に感想はありません。
特に特徴がある内容ではなく、パーソナリティの会話も悪くはないが、特別に良いというわけではなかったため、聞き流してしまいました。インディーズに詳しい人が聞いたら印象が違うのかもしれませんが・・・
- ・ 番組の後半に流れるBGM「ボサノバ」は賑やかなトークの合間にホッとする時を醸しだし、心地よい気持ちにさせる選曲でした。
又、1300年祭についての情報は当番組だけでなく、他の番組においても出来る限りの最新情報を提供し、成功の一助となし得るよう、今後も続けられるよう希望します。
- ・ 話の脈略がつかめなかった。話題の定義が狭すぎる。内容が頭に入って来にくい場合、リスナーはチャンネルを変えるのでは？
- ・ 話の上手な二人でした。トークはタイプの違う二人のパーソナリティだったので、引きつけられるものがありました。しかし、女性の方が全体的に気を遣って番組を盛り上げていた気がします。頭の良い方で切り替えが早くプロのDJのようでした。

7 会社からの答申

ご意見を今後の番組づくりの参考にさせていただきます。

- ・ 話題の脈略は必然さの積み重ねで番組全体の印象に結びつけなければいけないのではないかと思います。脈略がないと聞いていてもおもしろくない、FM局として「誰」をターゲットに「何」の話題でこれぐらいの人数、言い換えると「需要」を見込んで行うのか考えなければ、特定の客層に深層的に「テーマ」を与え、広告収入への結び付けることが出来ないでしょうか？

8 審議機関の答申または、改善に対してとった処置およびその年月日

パーソナリティに対し、議事録の配布（2月下旬予定）

9 審議機関の答申または、意見を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

第59回番組審議委員会議事録は、事務所と一般見学者スペースに据置。

また、当社ホームページ（<http://www.nara.fm>）にて、2月下旬公表。

10 その他参考となる事項

なし